
喰え

桜 抹茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

喰え

【Nコード】

N4306H

【作者名】

桜 抹茶

【あらすじ】

ある男が街で夕食を取ろうと、狭い路地まで入って行くと、奥まった場所に一軒の飲食店があった。

■ 喰え

> b r <

> b r <

> b r <

■ 喰え（怪談じゃないや・・・）> b r <

> b r <

ある男が、用事で難波あたりまで出ていた時の事。> b r <

仕事も終わり、日もどつぷりと暮れた。お腹も減ったので、夕食でも取ろうと、食べる場所を探していた。> b r <> b r <

ふと細い路地に入って行くと、木造二階建ての古びたアパートや古びた民家を取り囲む、薄暗い曲がり角の突き当たりに、

一軒の店を見つけた。

> b r <> b r <

というか普段なら広い通りや飲食街なんかへ向かうはずが、なぜか吸い込まれるように、招かれたように、彼はこの場所に立っていた。

> b r <> b r <

漂う、カレーや香辛料の刺激的な匂い。> b r <

赤い煉瓦の壁に、窓から漏れるオレンジ色の灯り。> b r <

青く塗られた入り口の木の扉の真ん中には> b r <

『満×500・Kui-House』

> b r <

の看板。

> b r < > b r <
若干重い扉を押し開けると、鼻を突く程に濃厚な香辛料の香り。 >
b r <

店内には、やたらに幅のあるカウンターがあり、等感覚に客が並んでいる。ありえない程の大きな・・・もはや巨大な皿に、ありえない程盛られた物を、ありえない程の必死な勢いで食べている。 > b r <

呆然としながらも、男は適当な椅子に腰掛ける。 > b r <

「いらつしゃあい。地獄へ」 > b r <

「地獄・・・へ？」 > b r <

男は、カウンター越しに声を掛けてきた、若い女性マスターの顔を覗き込んだ。 > b r <

・・・その目はすぐに、はだけた胸の谷間に向かったのだが。 >

b r <

「ここは、暴飲暴食 B a r K u i - H o u s e 。 > b r <

”喰う” > b r <

ここは、ただそれだけの為の店。

メニューは定食一品のみ」 > b r <

よくある飲食店の一形態なんだろうと思い、手元のメニューを見て驚いた。 > b r <

> b r <

> b r <

> b r <

炒飯定食（一人前） > b r <

> b r < > b r <

炒飯 5 0 K g > b r <

餃子 1 0 0 0 0 個 > b r <

ラーメン 1 2 0 0 玉 > b r <

ビール 4 0 リットル > b r <

> b r < > b r < > b r <

当店ではお代は一切戴いておりません > b r <
お食事を完食されたお客様は、どうぞお帰り下さい。 > b r <
ただし、残された場合はお代の代わりにお客様を、他のお客様への
炒飯の具材とさせて戴きます。

> b r < > b r < > b r <

皆が必死で食べている理由が解った。 > b r <
しかし・・・なんで逃げないんだ？ と思った。 > b r < > b r <
男は慌てて席を立て逃げようとする。 > b r <
しかし扉は、押しても引いても開かない。 > b r < 怖さで足が震え
る。 > b r <

> b r <

> b r <

逃げられない！

> b r <

> b r < > b r < やがてそれらは運ばれてきた。 > b r < > b r <
マスターは満面の笑みを浮かべながら。 > b r < > b r < > b r <
「喰え」 > b r < > b r < > b r <

と言ったそうな。

> b r <

（後書き）

怪談風ショートショート。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4306h/>

喰え

2010年10月13日11時53分発行